

Law
JournalNo.5
January 2010

山本和昭教授 退職記念号

専修ロージャーナル

献呈の辞	平井宜雄
●論 説	
業務委託契約と労働組合法の適用関係	渡辺 章・1
— INAXメンテナンス事件東京高裁判決を素材にして —	
裁判員裁判の運用に関する2つの問題	小出 諒一・27
医療観察法施行の動向と課題	岩井宜子・51
刑事判例研究の意義と方法	日高義博・73
フランスにおける公務員の政治活動	晴山一穂・95
訴因の特定を巡る諸問題	矢澤昇治・123
— ある殺人等被告事件の起訴状をめぐって —	
法科大学院教育と民法(債権法)改正	宮岡孝之・139
ドイツの刑事訴訟における合意について	滝沢 誠・159
●判例研究	
国家賠償法1条1項にいう公権力の行使に当たる公務員	筧 康生・177
消極的訴訟条件としての二重起訴とその補正	山本和昭・185
集会の自由への取消処分によって生じた社会的な評価の低下に対する慰謝料	石村 修・209
— 3.1節記念, 在日朝鮮人連合会中央集会事件 —	
共同暴走行為中の同乗者の死亡と「被害者側の過失」	田口文夫・225
過払金返還請求権の消滅時効の起算点	良永和隆・245
外国から児童ポルノを航空便で発送する行為と外国からの児童ポルノ輸出罪	岡田好史・261
逃走するために加えた暴行で被害者に傷害を負わせた場合の強制わいせつ致傷罪の成否	杉山博亮・275
●研究ノート	
「憲法訴訟論」の基本問題	古川 純・291
— 憲法判例から論点を考える —	
山本和昭教授履歴・業績	313

5号

Senshu Law School

